



超激戦！美浦かるた大会開催

1月28日、美浦村中央公民館において、村内小学生を対象とした美浦かるた大会が、青少年育成美浦村民会議の主催により3年ぶりに開催されました。

大会では美浦村の歴史や文化などをもとに、「共に輝くみほの会」が制作した「美浦かるた」を使用し、参加した総勢17名の児童による白熱した試合が繰り広げられました。入賞した皆さん、おめでとうございます。

低学年の部（1年生から3年生）		高学年の部（4年生から6年生）	
優勝	大谷小3年 佐野 美織	優勝	大谷小4年 野本 純平
準優勝	大谷小1年 大野 守一	準優勝	大谷小6年 野本 咲那
	木原小2年 笹崎 琴心		沼崎 知優
	大谷小3年 中田 謙造		木原小6年 青木 佑真

むらの話題

地域の話題を
お待ちしております

■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205

新春賀詞交歓会を開催



1月19日、みほふれ愛プラザにおいて「新春賀詞交歓会」が3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中島村長や来賓の方の新年のあいさつと、功労者表彰の式典のみが実施されました。

功労者表彰では、各分野で献身的にご活躍され、本村発展に多大なる貢献をされた方々計12名が表彰されました。

表彰された皆さん、おめでとうございます。

功労者表彰《順不同・敬称略》

自治功労	石川 修
社会福祉功労	宮本 秀夫 村崎 典子 葉梨 博子 小泉 幸夫
交通安全及び防犯功労	塚本 長久 坂本 一夫 諸岡 由夫 高橋 勝男 小泉 正雄
保健衛生功労	山岡つぎ子
教育文化功労	菅原 貞季

いばらきっ子郷土検定県大会に参加

2月4日、ザ・ヒロサワ・シティ会館(水戸市)において「第10回いばらきっ子郷土検定県大会」が開催され、美浦中学校から選手3名と応援3名の生徒が参加しました。いばらきっ子郷土検定は、茨城県の伝統や文化等を学ぶことを目的とし、県内の中学2年生を対象に実施している事業で、ザ・ヒロサワ・シティ会館での県大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりでした。

残念ながら、初戦敗退という結果に終わりましたが、諦めずに戦う姿は立派でした。生徒の皆さん、先生方、朝早くからお疲れ様でした。



新型コロナワクチン接種への協力に感謝状

2月2日、美浦中央病院、みほクリニック、はたかわ医院を村長が訪れ、新型コロナワクチン接種を推進し、感染症のまん延防止および重症化予防に多大な貢献をいただいたことに感謝の意を表して、感謝状を贈呈しました。

各医療機関は令和3年5月から今日に至るまで、途中小休止をはさみながらも接種を続けてくださいました。新型コロナワクチンは、16歳以上1人2回の接種から始まり、現在は生後6か月以上最大5回の接種まで、何度も対象者、接種方法、使用ワクチン等の変更を繰り返してきました。その都度対応し、通常診療と並行しながら膨大な数の接種を担ってくださったことに深く感謝いたします。

【2月1日現在の3医療機関の総接種回数(村民分のみ)37,229回】



美浦中央病院



みほクリニック



はたかわ医院

株式会社橋本ブラシが「特別優良賞」を受賞

2月9日、茨城県庁において茨城県が主催する女性リーダー登用推進企業の表彰式が行われ、株式会社橋本ブラシ製作所が「特別優良賞」を受賞しました。企業における女性の管理職への登用が求められる中、女性の働き方や課題と向き合う取り組みが認められての受賞です。

同社は従業員57名のうち女性が50人と、女性雇用率が高く、女性の管理職割合が100%（産業平均8.1%）と、女性が活躍できる雇用体制であることが評価されました。

表彰を受け、代表取締役の橋本秀昭さんは、「この栄誉を契機に、一層の女性の活躍や登用を推進してまいりたいと考えております。今後とも、従業員一同がともに生きがいを持って働ける職場環境づくりに邁進する所存です。」と話してくれました。



美浦村の子育てを応援する、子ども食堂がスタートしました

運営するのは村の有志で立ち上げた団体「みほっころぼ」です。現在は、受領にある社会福祉法人美しの森虹の里を間借りして、月2回～3回の開催を目指しています。目玉は栄養たっぷりの100円のお弁当。持ち帰りもできます。調理担当は、地域の大人たち。その中には地域おこし協力隊として美浦村週末カフェで腕を振るう、桂典久さん(かつらめし)も参加しています。

子ども食堂って子どもがいないと利用できないの？とよく聞かれますが、かつて子どもだったことがある方なら(笑)どなたでもウエルカムです。お茶のみ、おしゃべりにいらしてください。詳しくはLINE公式サイトへ。子ども食堂の開催日などの情報を発信しています。



《ビビンバ丼》



《カレーとチョコレートブラウニー》



▲子ども食堂
LINE公式
サイト



おめでとう 美浦所属馬 GI、J・GI 優勝!



第145回 中山大障害 ニシノデイジー号



12月24日、中山競馬場(障害・4100m・芝)で行われた第145回中山大障害において、美浦トレーニング・センター高木登厩舎所属のニシノデイジー号が障害転向4戦目にしてJ・GI初制覇を果たしました。

序盤は中団からレースを進めたニシノデイジー。2週目の向こう正面で先頭に立つと、セーフティーリードのまま最終直線へ。そのまま押し切り2着に3馬身差で優勝した。6歳を迎えた昨年5月に障害に転向。そこからわずか4戦での頂点となった。

厩務を担当する高森裕貴厩務員は、「特に牡馬は、年を取ると落ち着いてくるのですが、デイジーは老いてなお若々しく、変わらず元気いっぱいなところがあります。実は、低い障害(2、30cm)を飛ぶ(またぐ)のが苦手で、高い障害になれば飛べるんです。そんな馬いないですよ。デイジーだけです。今まではチャレンジャーの気持ちでいましたが、これからは追われる立場なので、気を引き締めていきたいと思っています。」と語ってくれました。障害界に現れた新王者の活躍に、これからも期待しましょう。



高木 登 調教師



高森裕貴 厩務員



五十嵐雄祐 騎手

第67回 有馬記念 イクイノックス号



12月25日、中山競馬場(2500m・芝)で行われた第67回有馬記念において、美浦トレーニング・センター木村哲也厩舎所属のイクイノックス号が、秋の天皇賞に続いてGI連勝を飾りました。

レースは、GI馬7頭と豪華なメンバーが集結し、まさに一年の締めくくりに相応しいオールスター戦となりました。中団の外側を進んだイクイノックスは、第3コーナー手前から馬なりで徐々に上がっていく。そして、最後の直線に入ると一気にギアを上げ、一瞬で先頭に躍り出た。さらに末脚を伸ばし、後続の追従を寄せ付けない圧勝でゴールを駆け抜けた。

厩務を担当する楠友廣調教助手は、「からだの状態が良く、気持ちも少し高い感じでレースに臨みました。ゲートから移動するバスの中で結果は聞きましたが、前回(天皇賞・秋)と比べたら安心してレースを聞くことが出来ましたが、勝ててホッとしました。デビューから6戦しか走っていないので、まだまだフレッシュな状態でやっているといます。世界にもその強さを見せていきたいです。」と語ってくれました。



木村哲也 調教師



楠 友廣 調教助手

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厩舎には訪問せず電話による取材とさせていただきます。
なお、掲載している写真については、JRA・ご本人からご提供いただいたものを使用しております。